

## 歴史を学ぶ講座

# 新・八幡の歴史

# 46回目

前回は近世の八幡の続きで、出口修さんは上津屋村、美濃山新開について話されました。「歴史を訪ねて」で一度伊佐家や石田神社を訪ねたことがあって親しみが湧きました。

上津屋村は里垣内、浜垣内、川向こうの東上津屋村の3つからなり、1772年には232戸庄屋4名で村を運営していた。昭和28年に流れ橋が完成するまでは渡し舟が当たり前に活用されていた。村所有の船は2艘。肥尿を淀から買取り、運搬船で運んだり、燃料にするために宇治の山から木を切って運んだりした。川向こうの東上津屋村には寺社はなくて石田神社遷拝所の碑が残る。そこに住む人にとっては何かと不便があったようだ。村の生活を支えた農産物は菜種、綿、梨、サツマイモ、製茶、桑だった。石田神社は当時牛頭(ごず)天王社といい、里垣内に。算額が奉納されている。

- ① 日時 2023年5月18日(木)13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

**八幡まるごと館** / 八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07

5-983-3664

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net) 作られた

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。



上:伊佐家(当時の庄屋)

中:石田神社

下:流れ橋

2016年11月歴史を訪ねてから